

常任委員会の審査報告

総務

総務常任委員会は3月5日に委員会を開会し、付託された議案6件の審査を行いました。

議案審査

後期高齢者医療に関する条例の制定

【賛成多数 可決】
制度開始に伴い、制度に関する届出の受付及び保険料の徴収業務を行うもの。

制度の施行により市民の負担が大きくなると思えるが、何か方策はないのか。

市民部長 高齢者低所得者の方にとって非常に厳しい制度となっており、負担が低くなるよう財政的支援を国に要望していく。

職員倫理条例の一部改正

【賛成多数 可決】
3歳未満の者に適用されている10分の2の負担割合を義務教育就学前までに拡大し、70歳以上の現役並み所得者以外の者の負担割合を1割から2割に引き上げるもの。

国民健康保険条例の一部改正

【賛成多数 可決】
後期高齢者支援金等の

費用の支出財源の概ね2分の1を後期高齢者支援金等分の国民健康保険税として賦課するもの。

また、近年の医療費の大幅な増加などに伴い、国民健康保険事業に要する費用を確保するため、基礎課税額分の国民健康保険税の増額改正を行うもの。

約15%の保険税のアップ率は非常に大きいと考えるがなぜか。

国保医療課長 数年に一度くらいで毎年、保険税を上げてこなかったことに要因がある。

保険税アップに伴う激変緩和措置はないのか。

国保医療課長 今後、軽減や納税者との話し合いの中で分割納付などを考える必要があると思う。

【賛成多数 可決】
後期高齢者医療制度の啓発パンフレット



後期高齢者医療制度の啓発パンフレット

文教福祉

文教福祉常任委員会は3月6日に委員会を開会し、付託された議案5件の審査を行いました。

留守家庭児童会の運営等に関する条例の制定

【賛成多数 可決】
開設時間の延長及び保護者負担金を月額6700円とするもの。

定員オーバーが見込まれる場合、どのように対応するのか。

社会教育課長 指導員を増員し、待機児童は出さないよう対応する。

開設時間を午後7時までにとの要望があったが、午後6時30分まで

になった理由は、社会教育課長 アンケートの結果、半数の方が終了時間に6時30分を希望され、その上で留守家庭児童会連絡協議会とも協議を行った。

学童の受け入れは、4年生までだが、障害を持つ学童の場合、6年生までにならないか。

社会教育課長 有資格指導員の確保の観点から当面の間、難しい。

老人福祉施設設置条例の一部改正

【賛成多数 可決】
常磐苑で実施していたデイサービス事業を廃止するもの。

デイサービス事業園整備負担金を積み立



田辺中学校敷地拡張事業用地を視察する委員

閉会中の委員会審査

総務

総務常任委員会は1月28日に委員会を開会し、閉会中の継続審査となっていた議案審査を行いました。

建設経済

建設経済常任委員会は1月21日に委員会を開会し、閉会中の継続審査となっていた請願審査、所管事務調査を行いました。

請願審査

田辺中央4丁目の葬儀場建設計画に関する請願

【賛成多数 採択】
(請願項目は下表)

事務調査

建設経済常任委員会は3月7日に委員会を開会し、付託された議案6件の審査を行いました。

公園整備負担金について3%の徴収比率をもう少し上げられないか。

計画検査課長 法律上3000㎡以上の開発行為は、3%と規定されているため、公平性を図る必要があると考える。

地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

【賛成多数 可決】
ラブホテル建築等規制条例の一部改正

生活実態をどう考えているのか。

保健福祉部長 厳しい状況であることは理解している。

財産取得

田辺中学校敷地拡張に要する用地を5千3万5630円で京都府から取得するもの。用地は畑3筆の1万5468㎡。

田辺中央4丁目の葬儀場建設計画に関する請願

田辺区長、京田辺市まちづくり協議会

開発行政

開興戸東垣内地区の避難通路の進捗状況は、計画検査課長 未だ道路確保には至っていない。

橋りよの維持管理

松井ヶ丘の奥池跨線橋の耐震調査は、施設管理課長 17年度に点検を行い、構造的に問題はない。

新名神高速道路の進捗

状況と企業誘致

副市長 踏切を通らず、通行できる方策を考える必要があると認識している。

環境の諸問題

ごみ収集委託の1トン当たりの委託料単価は、

経済環境部次長 収集車両1台あたりの1日の経費により算出。

同商店街活性化に、踏切が大きな障害と

1. 駅周辺の交通事情を悪化させ、地域の住環境を激変させる恐れのある葬儀場建設計画について、市長は、建築主・事業主に対して地域住民が納得できるよう誠意を持って説明できるよう指導すること。

2. 京都府に対して、許可に当たっては地域住民の意向が十分反映するよう適切な対処を要望すること。

道路線の廃止

【賛成多数 可決】
三山木地区特定土地区画整理事業により新設された道路に伴い、既設道路の廃止を行うもの。

学研都市京都土地開発公社定款の一部変更

【賛成多数 可決】
公社が扱う業務量は減ってきていると考え

が、今後の公社の合理化、効率化はどうか。

副市長 確かに取引件数は減っている。合理化等は内部的に議論している。市長も問題意識を持っていると考えている。

道路線の認定

【賛成多数 可決】
三山木地区特定土地区画整理事業に伴い新設された道路や用地の寄附を受けたことに伴う道路等を認定するもの。



認定案件のあった道路を視察する委員 (大住責谷)

道路線の認定

【賛成多数 可決】
三山木地区特定土地区画整理事業に伴い新設された道路や用地の寄附を受けたことに伴う道路等を認定するもの。

道路線の認定

【賛成多数 可決】
三山木地区特定土地区画整理事業に伴い新設された道路や用地の寄附を受けたことに伴う道路等を認定するもの。

道路線の認定

【賛成多数 可決】
三山木地区特定土地区画整理事業に伴い新設された道路や用地の寄附を受けたことに伴う道路等を認定するもの。